



北京 2022 冬季オリンピック報告会開催



左から 2003 年卒 久保英恵さん 2016 年卒 藤本もえこさん 会長
2012 年卒 山田将平さん 2011 年卒 平山友梨香さん

4月15日スポーツ教育学科と共催し、「北京2022冬季オリンピック報告会」が開催されました。オリンピック公式スーツに身を包んだ選手たちと空間を共にした学生以外にも会場に足を運ばなかった学生のオンライン参加も多数ありました。

オリムピックという舞台での卒業生の活躍は同窓生にとっては誇らしいことです。後輩の学生にとっては大いなる刺激となるよう企画しました。当日は女子アイスホッケーの日本代表の久保英恵さん、藤本もえこさん、スキージャンプ日本代表男子チームトレーナーの山田将平さん、女子スキージャンプテストジャンパーを務めた平山友梨香さん（2009年卒）茂野美咲さんは当日都合により欠席の4名の卒業生が登壇。「後輩に伝えたことは何ですか」という投げかけにそれぞれ印象的なお話をいただきました。



スマイルジャパン



「選手として選ばれずそれでも応援することの重要性を認識できたという話に感動した」などの感想が聞かれました。
今回現役学生のオリンピック出場はありませんでしたがこのような貴重な体験が今後の学生の活躍につながるよう期待したいと思います。

デフリンピックブラジル大会

日本代表に3名出場

サッカー、バレー共に順調に勝ち進んでいましたが、日本選手団に新型コロナウイルスの感染が判明し、5月11日以降の全競技辞退となりました。
残念な結果になりましたが広い分野で本学の学生、卒業生の活躍は大学、同窓会として誇りにしたいと思います。
これからもくじけずに競技に精進し自分の可能性に挑戦し続けるようエールを送ります。



デフサッカー日本代表
川畑菜奈さん
(2013年スポーツ教育学科卒業)



デフサッカー日本代表
田中 恵さん
(2002年保健体育学科卒業)



デフバレー日本代表
石原美海さん
(スポーツ教育学科2年)

写真提供：一般財団法人全日本ろうあ連盟 スポーツ委員会

5月にブラジルで開かれた聴覚障害者のスポーツ大会「デフリンピック」にデフサッカーで本学卒業生、川畑菜奈（2013年スポーツ教育学科卒業）、田中恵（2002年保健体育学科卒業）、デフバレーで石原美海（スポーツ教育学科2年）の3名が日本代表に選ばれ参加しました。

パラリンピックとデフリンピック

国際パラリンピック委員会(International Paralympic Committee)が1989年に発足した当時は、国際ろう者スポーツ委員会も加盟していましたが、デフリンピックの獨創性を追求するために、1995年に組織を離れました。そのため、パラリンピックにろう者が参加できない状況が続いています。なお、デフリンピックの獨創性とは、コミュニケーション全てが国際手話によって行われ、競技はスタートの音や審判の声による合図を視覚的に工夫する以外、オリンピックと同じルールで運営される点にあります。また、パラリンピックがリハビリテーション重視の考えで始まったのに対し、デフリンピックはろう者仲間での記録重視の考えで始まっています。しかし、現在は両方とも障害の存在を認めた上で競技における「卓越性」を追求する考えに転換しています。

国家試験合格

第34回 社会福祉士
2021年度 卒業生
12名中 合格者数 4名 (合格率33.3%)

第34回 介護福祉士
2021年度 卒業生
4名 全員合格 (合格率100%)

第24回 精神保健福祉士
2021年度 卒業生
10名中 合格者数 3名 (合格率30%)

2022 年度教員採用

教員採用者 (2022.3.24現在)
採用者数 () 内は現役 112名

小学校 46名 (34名)
中学校 16名 (5名)
高校 5名 (3名)
特別支援 23名 (11名)
養護教諭 22名 (12名)

北翔大学オープンキャンパス 2022

第3回
2022 7/30 SAT ☆
2022 7/31 SUN ◎
2022 8/6 SAT ■
2022 8/7 SUN ☆

第4回
2022 9/18 SUN ☆
2022 9/19 MON ◎
第5回
2022 12/10 SAT ◎
2022 12/11 SUN ☆

※新型コロナウイルス感染状況に配慮し、学科によって日程を分散して実施します。

第6回
2023 3/11 SAT ◎
2023 3/12 SUN ☆

◎ スポーツ教育学科
○ 健康福祉学科
☆ 教育学科
■ 芸術学科
◎ 心理カウンセリング学科
■ こども学科

私は俱知安町の総合政策課総合政策係に所属しております。

総合政策課は、重要施策において縦横連携による事業実施の調整役を果たしたり、町全体が同じビジョンや目標に向えるよう調整を行う部署です。その中でも総合政策係は、総合計画の策定および進捗管理に関することや総合戦略及び地方創生の推

俱知安町

わが町自慢

自治体に勤務している卒業生の目を通して市町村のアピールをしてもらう企画です。次号の原稿を募集しています。必ずしも自治体へ勤務する方でもなくても結構です。

赤平市

北翔大学関係者の皆さま初めまして。2014年度卒業生の半田拓也と申します。在学時に様々な地域実習へのボランティア参加を通して、地方自治体での仕事に興味を抱き、御縁もあり、現在赤平市職員として、教育委員会に勤務しております。

現在私は、スポーツ・文化活動をはじめとする様々な地域活動におい



千葉結菜さん
(2017年福祉心理学科卒業)

て、地域住民の学び合いによる「まちづくり」を目的とする「社会教育」について担当しております。

具体的には、小学生への走り方教室・体力測定会や介護予防を目的とした、地域まるごと元気アッププロジェクトなど、健康運動生涯スポーツといった、正に北翔大学の学びが活かされる活動のほかに、地域における主体的な活動の推進を図るべく、少年団を設立し、私自身地域住民の1人という自覚の下、「地域と行政」それぞれの視点から、まちづくりに取り組んでおります。

赤平市はかつて、炭鉱のまちとして栄え、炭鉱の閉山とともに人口減少が加速していますが、道内で唯一、

進に関する点、広域行政に関する点、移住・定住に関する点、国道への要望活動に関する点、統計調査に関する点などを担っております。

私は主に統計調査に関する仕事を担当しており、各種統計調査を正確に進められるよう調査員の方と協力しながら業務を行っております。

学ぶことの多い毎日で、大変なこともありますが、俱知安町に生活する全ての人が、この町に住んで良かったと感じ、夢をもって住み続けられる「ふるさと俱知安」を目指して、日々頑張っております。

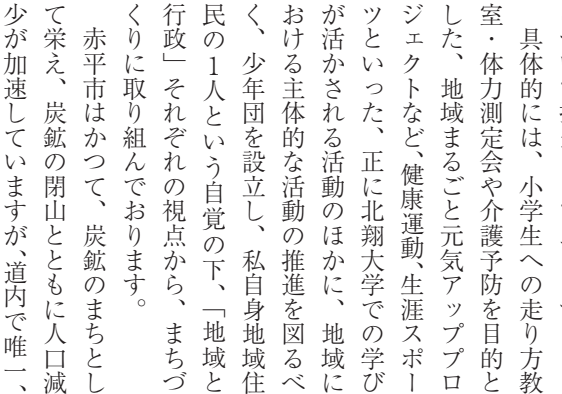
人口は約15,000人ですが、国際的なリゾート地「ニセコエリア」の中心地であり、夏は登山やラフティング、冬はスキーやスノーボードなどオールシーズンアウトドアライフが楽しめるのが魅力です。また、国際色豊かで、観光・飲食業をはじめとしたサービス業に携わる外国籍住民や若い世代が多く、農業も盛んです。



春の羊蹄山

美味しい水と農産物が自慢で、おしゃれなレストランやカフェもたくさんあります。

魅力いっぱい俱知安町にぜひ遊びに来てください！



半田拓也さん
(2014年スポーツ教育学科卒業)

操業時の遺産の姿が見学できる炭鉱遺産ガイドランス施設や、ものづくりのまちとして多くの企業が赤平市に参入していること、また最近ではアカデミー賞ノミネート作品のドライブ・マイ・カーのロケ地となったことなどを受け、多くの観光客の方が赤平市にお越しいただいております。

まちのイベントとしては、赤いふんどし姿で炭鉱の火をたいまつリレーするあかびら火まつりを開催、地域が一体となった一大イベントであります。

私が思う赤平の良さは、これらを支える人々の想いが強いということです。傍から見ると、一度は栄え今は衰退の一途を辿るまの1つに数えられるかもしれませんが、赤平に住む人たちは、今も炭鉱の火の如く「熱く、温かく」心を燃やし、志を高く持っています。こうした志の高い地域住民と、これからの生き残り若者たちが想いを共有し、将来自分も赤平のまちづくりを担いたいと思う人が増えていくことが、私の



あかびら火祭り

行政職員、地域住民としての共通の想いがあります。

最後になりますが、各地で活躍されている、北翔大学卒業生の皆様は今後益々の御活躍と、北翔大学のより一層の発展を心より御祈念申し上げます。私の仕事紹介と、わがまち自慢とさせていただきます。新型コロナウィルスの終息にはもう少し時間がかかりそうですが、共に頑張ります。

広がる支援の輪

陸上部



陸上部監督 北風沙織さん
(2008年健康プランニング学科卒業)

日頃より、北翔大学陸上競技部の活動にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

今年1月より、北翔大学陸上競技部の監督に就任いたしました平成20年度卒業の北風沙織です。

こうして、母校である陸上競技部監督として携われることを大変嬉しく思っております。

私自身もこの北翔大学で、大学日本一や世界陸上出場、日本代表として世界に羽ばたくことができました。北翔大学は自分の努力次第でいくらかでも可能性が広がる大学だと思っています。

北海道からできること、この北翔大学だからできることを考えながら、まずは自己ベストを出すことはもちろんですが、全国の舞台を経験し、全国で戦える選手になれる様、一緒に課題を解決しながら目標に向かって行けるように成長していきたいと思っています。

そして北海道から世界に羽ばたける選手の育成をしていけるように努力していきたいと思っています。

まだまだ未熟者で至らないことも多々あると存じますが、引き続き新体制になりました北翔大学陸上競技部へのご指導・鞭撻いただければ幸いです。

アリーナ室内練習走路新設工事



約60m

約 60M 新設工事予定箇所

約 700 万円
9 月 6 日完成予定
冬期間の練習を充実します。



陸上部の皆と (2列目中央)

こども食堂・地域食堂に支援を決定

江別市を中心に活動しているこども食堂。本学健康福祉学科教員6名による居場所づくり支援、研究・実践グループと学生、住民ボランティアで構成され活動しています。

「八丁目プラザのつば」でお弁当やお菓子などの無料提供会を年3回、江別市の「真願寺」にて、お楽しみ会付きお弁当やお菓子などの無料提供を年4回、その他バザーを大学内で開催する内容で活動されています。毎回100、150人の人々が利用されています。

コロナ禍になる前は、お弁当ではなく調理した温かいものを食べてもらう事が出来ていました。

そこで淑率会がお手伝い出来る事、通常先生方の勤務の中行われていたこども用のお菓子、お茶の購入、袋詰め、代金の負担(十万円相当)を担う事としました。

こども達を取り巻く環境が悪化する社会情勢の中、この活動がひとときの安らぎになる大変重要な活動と認識し、支援を決定しました。この支援が学生達には活動を通して社会の現実と触れる事で自分の道を見つめるきっかけに、そして、先生達には学生達と向き合う時間の余裕に繋がる事を願います。



2021.11.3 撮影
真願寺わくわくお楽しみ会にて



2022.5.18 撮影
八丁目プラザのつばにて食品無料提供会



2022年3月卒の芸術学科舞台芸術分野(役者・声優研究領域)で学んでいた斉藤莉生さんが、在学中に舞台「ハリー・ポッターと呪いの子のオーディションに合格し、スコピウス・マルフォイ役で出演しています! 舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」は2016年ロンドンで開幕し、ニューヨーク、サンフランシスコ、メルボルン、ハンブルク、トロントで大ヒットし、今回、日本のオリジナルキャストによる世界で7番目の上演、TBS開局70周年記念として無期限で上演されます。主役のハリー・ポッターは藤原竜也、石丸幹二、向井理のトリプルキャストという豪華な舞台です。

4月に上京し、8月より出演予定でしたが、ダブルキャストの役者が稽古中に怪我を

在学中より、役者、音響映像制作などに積極的かつ意欲的に取り組み、見事オーディションに合格しました。どのような舞台をみせてくれるのか、どのように成長していくか、非常に楽しみにしています!

ちなみに斉藤さんは、お母様が初等教育学科を卒業している二世会員です。

芸術学科 学科長 松村幹男教授

斉藤莉生さん
(2022年芸術学科卒業)



らぶキッズキャンプを応援



「病院スノーギフト」プロジェクト 2022
(雪の積もらない地域の病院等へ雪を贈る)

開催していた写真展でした。

学生たちはコロナ禍のご数年は直接的な活動は出来ず、敷地内の整備などのボランティア活動にとどまっているようですが写真展を通じて多くの人に活動を知ってもらいたい思いが十二分に伝わってきました。

淑率会では学生たちが貴重な経験をさせていたっている「スノーギフト」キッズキャンプ」を応援します。

<https://www.sokupit.jp>

こども学科からのお知らせ!

こども学科を今年(2022年3月)卒業の皆さん

卒業後どうしてる? 何か困っていない? 久しぶりに先生達と話をしませんか?

こども学科と淑率会『卒業教育懇談会』

昨年に引き続き
オンライン
開催決定

10月初旬(未定)ごろに個別に連絡いたします
登録してくれた人全員に『カワイイ何か』プレゼント!



寄贈しました

式典などで使用する金屏風(292,600円税込)を購入し大学へ寄贈しました。



※レジタルではありません!!

ばくだんオニギリ 300gを差し入れ

昨年はコロナ禍で行動制限があったり、大学に立ち入る事も出来なかったり過酷な中でできる事を一生懸命学んでいる後輩にエールを送りたいと、オリジナルオニギリでエールを送りました。

舞台芸術公演時の夕食に、ファッションショーの夕食に、芸術学科ウィンドオーケストラ演奏会の昼食に届けました。

“何ですか、このオニギリ”と目を丸くして喜んでくれて作戦通りの反応有りがとう!



これが
「ばくだんオニギリ」



右: コンビニオニギリ 100g
左: ばくだんオニギリ 300g

焼きたらこ
or
ツナマヨ

サケ

コンブ

●●●●●2022年 代議員会報告●●●●●

2022 年書面代議員会

今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむなく代議員会を中止させていただき書面をもって承認となりました。

〈審議内容〉

1. 2021 年度事業報告及び会計決算報告
2. 2022 年度事業計画及び予算

2021年度会計決算・2022年度予算

一般会計

(単位:円)

項目	2021 年度決算	2022 年度予算
収入		
会 費 収 入	24,448,780	22,800,000
雑 収 入	282,095	
利 息	131	1,500
前期繰越収支差額	8,767,302	11,943,381
収 入 合 計 (A)	33,498,308	34,744,881
支出		
I 大学支援		
大 学	942,694	8,000,000
学 生	2,369,314	3,000,000
II 事業		
事業	20,110	1,500,000
OB・OB 会 支 援	754,706	1,200,000
研 修	39,454	450,000
広 報	2,429,006	2,500,000
入 会 式	928,275	1,000,000
支 部	756	2,000,000
III 管理		
会 議	29,269	300,000
慶 弔	413,230	300,000
印 刷	164,708	200,000
通 信	141,002	200,000
運 営 ・ 活 動	2,939,691	3,700,000
消 耗 ・ 雑 費	147,672	150,000
備 品	205,040	150,000
IV 予 備	0	1,000,000
V 社会貢献活動支援	0	700,000
VI 周年行事積立金	10,000,000	3,000,000
事業積立金	30,000	0
支 出 合 計 (B)	21,554,927	29,250,000
次年度繰越収支差額 (A) - (B)	11,943,381	5,494,881

特別会計

1. 事業積立金

(単位:円)

項目	2021 年度決算	2022 年度予算
収入		
利 息	2,454	15,000
前 年 度 繰 越 金	80,850,819	80,880,853
積 立 金	30,000	0
収 入 合 計 (A)	80,883,273	80,895,853
支出		
通 信 費	2,420	3,000
支 出 合 計 (B)	2,420	3,000
次 年 度 繰 越 金 (A) - (B)	80,880,853	80,892,853

2. 周年行事積立金

項目	2021 年度決算	2022 年度予算
収入		
利 息	0	1,000
前 年 度 繰 越 金	12,503	10,012,180
積 立 金	10,000,000	3,000,000
収 入 合 計 (A)	10,012,503	13,013,180
支出		
通 信 費	323	-
支 出 合 計 (B)	323	-
次 年 度 繰 越 金 (A) - (B)	10,012,180	13,013,180

3. 奨学金

項目	2021 年度決算	2022 年度予算
収入		
貸 与 者 返 済	1,506,250	1,500,000
雑 収 入	1,010	500
前 年 度 繰 越 金	27,740,960	28,668,020
収 入 合 計 (A)	29,248,220	30,168,520
支出		
奨 学 金 貸 与	580,000	1,430,000
雑 費	200	600
支 出 合 計 (B)	580,200	1,430,600
次 年 度 繰 越 金 (A) - (B)	28,668,020	28,737,920

4. スポーツ・文化振興会

項目	2021 年度決算	2022 年度予算
収入		
利 息	5	-
前 年 度 繰 越 収 支 差 額	630,271	617,773
収 入 合 計 (A)	630,276	617,773
支出		
郵便振替を移行	12,503	-
支 出 合 計 (B)	12,503	-
次 年 度 繰 越 金 (A) - (B)	617,773	617,773

- 2022 年度も、支部会は中止となります。
※ V 社会貢献活動支援は震災支援から名称変更しました。

同窓生の皆様

北翔大学・北翔大学短期大学部

学長 山谷 敬三郎

北翔大学短期大学部

ライフデザイン学科の募集停止のお知らせ

この度、学校法人北翔大学は、北翔大学短期大学部のライフデザイン学科を令和5（2023）年の入学者選抜から学生募集を停止することについて、令和4（2022）年3月22日に文部科学省へ届け出をし、報告いたしました。

北翔大学短期大学部ライフデザイン学科は、文部科学省の推奨する地域総合学科構想に適った学科であり、短期大学基準協会から適格認定を受けた学科「人間総合学科」を前身として、平成24年（2012年）に開設し、2年間という短期大学の教育・研究活動の中で、今日まで地域社会で活躍する人材養成に取り組み、多くの卒業生を輩出して参りました。

一方で、近年の少子化・18歳人口の減少の影響を受けて、短期大学部の取り巻く環境は厳しさを増しており、本学科におきましても大きな影響を受け、入学人数低迷が数年間続き、定員を大きく下回る状況となりました。

こうした事態を受けて、苦渋の決断ではありますが、令和5年度（2023年度）よりライフデザイン学科を学生募集停止とする結論となりました。

これまでライフデザイン学科で展開してきました教育内容については、精選・特化し、短期大学、4年制大学の各学部・学科で展開するとともに、在学生の教育指導、進路・就職に責任をもって取り組んでまいります。

つきましては、同窓生の皆様に、これまでのお礼とともに、募集停止についてお知らせさせていただきます。今後とも本学の教育研究活動に対しまして、変わらずご支援賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルスワクチン接種を終えて

昨年、札幌学院大学と合同で行われた新型コロナウイルスワクチン接種、本学全学生の51%が接種を終えました。その他の会場を含めると85%の学生が接種を終えた事になりました。かかる費用を同窓会が負担すると前号で報告をしましたが補助金等でまかなわれ支払いはありませんでした。ここに報告いたします。

北翔大学同窓会淑萃会 OB 会

養護教諭部会 閉会報告

〈会計決算報告書〉

養護教諭部会閉会の為、会計決算報告書

令和3年(2021年)度 会計決算報告書					
〈収入の部〉					
項	目	予 算	決 算	増 減	内 容
①	前年度繰越金	707,954	707,954	0	前年度より
②	会 費	20,000	16,000	▲ 4,000	会費減額
③	役 助 金	50,000	50,000	100,000	淑萃会より援助金
④	雑収入・利息	6	2	▲ 4	利息
合 計		777,960	773,956	▲ 4,004	
〈支出の部〉					
項	目	予 算	決 算	増 減	内 容
①	通 信 費	20,000	5,544	14,456	前半代他
②	印 刷 費	400,000	158,777	241,223	はがき印刷代他
③	庶 務 費	10,000	0	10,000	印刷代
④	会 議 費	60,000	39,110	20,890	事務局会議室代他
⑤	交 通 費	50,000	80,000	▲ 30,000	各会派歩留交通費、感謝の集い実行委員会交通費
⑥	予 備 費	237,960	210,890	27,070	北翔大学挨拶、一筆箋代
合 計		777,960	494,321	283,639	
★決算					
	収入	-	支出	=	差引残高
	773,956		494,321	=	279,635円
※差引残高は淑萃会へ振り込みます。					
会計監査 伊藤幸子					
会計監査 関 香					



メッセージと共に女子学生へサニタリー用品が配布されました。

多年草報告



第31回多年草展の作品

2021年10/21～10/26 札幌・道新ぎやらリーにて第31回多年草展が開催されました。第30回記念展を区切り一時休止を考えていた多年草でしたが次回展を!!と願う声に支えられて再興し開催に至りました。北の大地に根を下ろした多年草の種が再び開き明るい笑顔に満たされて無事に終えることが出来ました。(多年草だよりより抜粋)

次回 多年草展 2023年8月下旬から9月上旬予定

合縁奇縁

世界中が新型コロナウイルスの猛威に沈黙を強いられた2年間、短大生に至ってはたったの3カ月程しか大学に来る事が許されなかった中、卒業をしていきました。

人生の中で一番感受性が鋭く長けている時期を苦痛でしかなかった日々を考えると言葉にもなりません。4月から大教室の授業以外は対面で、部活も制限が緩和され学内に学生の声が聞こえる本来の姿に戻りつつあります。当たり前の風景がこんなにも新鮮なかと痛感しています。

そんな中、多くの学生が食堂にてパソコンを開いて課題をこなしている姿を見かけるようになりました。これはこれで学び舎らしく今までにはない光景と言えるでしょう。さて、本学は来年創立60周年を迎えます。半世紀も過ぎると様変わりをするものですがライフデザイン学科、上記のように短大の募集停止が決まりました。(こども学科はそのままだります)一つの時代の終わりを迎えたようです。非常に残念で寂しいものです。一般的には一つの学部を停止する時にはその時代のニーズを的確に捉えた新しい学部に変換するものですが、本学の場合は違います。何もせず募集停止にするだけ。大学は100年続く未来計画なるものを発表したのですが、そこには新しい学部の展望が示されていません。もし、その主な理由が教職員の構成だったり、雇用問題などの理由であるならば到底許容はできないのです。まず足元を固める事がとても重要であると理解しますが、同時に未来の道を明確に指示する事も重要であると思うのは私だけでしょうか。とにかく私達卒業生は100年先でも母校は輝いていて信じているのですから。これからのための応援を決して惜しみません。

淑萃会会長 伊藤みどり